

幸せになる美容外科

Sustainable satisfaction for both patients and clinics



The 112th Congress of Japan Society of Aesthetic Surgery
第112回 日本美容外科学会

2024/5/30 TUE - 31 FRI
ANAインターコンチネンタルホテル東京
会長 大橋 昌敬 THE CLINIC 総院長

演題募集期間 2023/11/15 WED - 2024/1/10 WED

運 営 株式会社サンプラネット 東京事業部 メディカルコンベンションユニット
事務 局 〒112-0012 東京都文京区大塚3-5-10 住友成泉小石川ビル6F
TEL: 03-5940-2614 FAX: 03-3942-6396 E-mail: jsas112@sunpla-mcv.com

<https://www.theclinic.jp/jsas112/>



2023年
8月31日(木)
第037号

一般社団法人 日本美容外科学会
〒143-0023 東京都大田区山王3-37-13
e-mail: info@jsas.or.jp



日本美容外科学会新聞

JAPAN SOCIETY OF AESTHETIC SURGERY
JAPAN FOUNDATION OF AESTHETIC MEDICINE

日本美容外科学会
公式新聞

今月号の
主なお知らせ

第111回日本美容外科学会
JSASからのお知らせ
第112回日本美容外科学会

第111回日本美容外科学会のお礼とご報告

2023年5月11日から12日の2日間、グランキューブ大阪（大阪府立国際会議場）で第111回日本美容外科学会が開催されました。

今回の学会のテーマは「美しい未来を創る美容外科 - 先人から学び、未来へ繋げる -」でした。僕が美容外科を目指した時代は「美容外科は一流の医師は選ぶべきではない」の時代でしたが、この20年で風向きが変わりました。未来はもっと発展していくという想いを込めてこのテーマにさせていただきました。

この学会の準備を始めたのは3年前で、色々な学会に参加して素晴らしいご発表をなされていた先生ばかりをピックアップしてシンポジストに選ばせていただきました。

結果として過去最高の約1,750人という過去最大人数の方々にご参加いただいたのはひとえにご協力をしていただいたシンポジストの皆さまのおかげです。この場をお借りして改めて熱く御礼申し上げます。僕は美しい人と音楽、美味しい料理が好きなのでランチョンセミナーは「にく割烹金座」監修のお弁当、情報交換会ではマイケルジャクソンショーと勉強以外の部分も全てこだわらせていただきました。なぜかお弁当の評価が一番高かったので、このこだわりは次回にも繋げていっていただければと思います(笑)。

※次ページに、当日の様子を写真で紹介しています



第111回日本美容外科学会
会長 池田 欣生

JSAS からののお知らせ

●メールアドレスご確認のお願い

以前より、メールアドレスが不明もしくは変更されず、ご連絡が届かないケースが多くみられます。お手数ですが、会員専用ページよりご登録のメールアドレスの確認・修正をお願いいたします。※会員専用ページへのログイン情報が不明な場合は、【info@jsas.or.jp】へメール連絡ください。

●ホームページリニューアルのお知らせ

日本美容外科学会のWEBサイトを全面リニューアル。デザインを一新し、スマートフォンからも快適にご利用いただけるようになりました。また、学会への入会申し込みもオンライン化するなど利便性も向上しています。今後もコンテンツの充実を図り、より良い情報の提供を目指してまいりますので、何卒よろしくご願いたします。



<https://www.jsas.or.jp/>

JSAS

検索

※右記のQRコードからもご覧いただけます。



2023年度専門医試験について

合格者は以下の12名です。

井上 紘基	吉良 匠平
高橋 淳	山下 昭悟
山本 高士	深田 賢吾
西山 慶	田村 暢章
藤本 雅史	堀田 和亮
毛利 理人	野口 祥世

(所属敬称略)



第111回大会会長 池田先生ご挨拶



鎌倉理事長による「情報交換会 乾杯の音頭」



Dr. James M. Stuzin



海外招待講演 集合写真



シンポジウム14 廣比先生



シンポジウム3「鼻の形成」



シンポジウム4 堀田先生



シンポジウム14 大口先生



シンポジウム14 菅原先生



JSAS モニュメントでの1枚



Dr. Rod. J. Rohrich



シンポジウム1「クリラボ」でご登壇の皆様



シンポジウム4 集合写真



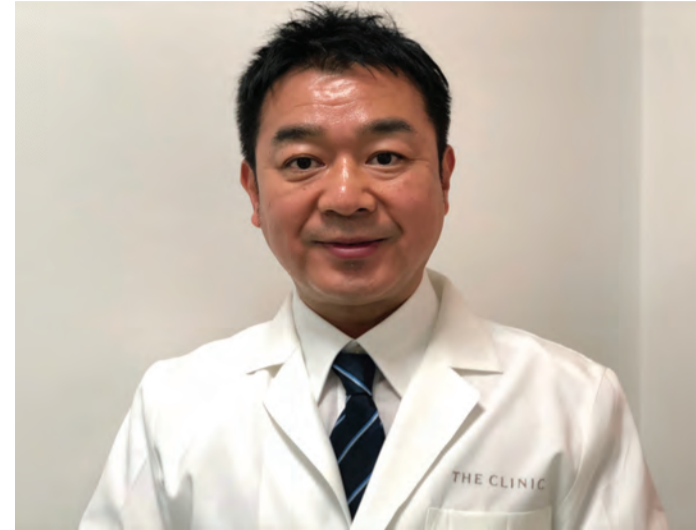
Live サージェリー1「小切開法による眼瞼下垂」



Live サージェリー2「フェイスリフト」

第112回日本美容外科学会ご案内

テーマ「幸せになる美容外科」 Sustainable satisfaction for both patients and clinics



第112回日本美容外科学会
会長 大橋 昌敬

この度第112回日本美容外科学会の会長を拝命いたしましたTHE CLINIC 総院長の大橋昌敬です。開催に際し日本美容外科学会理事長の鎌倉達郎先生をはじめ、学会員の皆様、関係各位よりご指導ご支援を承り、厚く御礼を申し上げます。

本学会は2024年5月30日(木)・31日(金)の2日間にわたり、六本木のANA インターコンチネンタルホテル東京で開催いたします。会員の皆様はもちろん、美容医療に興味を持つ非会員の先生方や、美容関連ビジネスを目指す方々にも幅広くご参加いただければ幸いです。

今回のテーマは「幸せになる美容外科」 Sustainable satisfaction for both patients and clinics としました。患者様とクリニックが共に幸せに、そして満足感が持続することを願ってのテーマです。

私自身は典型的な外科医(経営者ではない)だと思っております。その為か、私個人が最もフォーカスをしているのは、経営的な事ではなく、患者様を幸せにする事と満足していただく事です。その為には何のデバイスを使い、こういったテクニックを駆使すれば患者様にベストな手術ができるのか?どうすれば安全に手術ができるのか?を最重要視しています。

ただし、これらを実現するには母体のクリニックの運営がうまくいっている事が大前提だと考えています。

一緒に働くスタッフが自分のクリニックのサービスに自信を持ち、施術や手術を安心してドクターに任せられるクリニックになる事、そして働くメンバーが「入社して良かった!」と思ってくれるクリニック、いつの間にか笑顔がこぼれるクリニックにする事が私の目標かつ使命だと思っています。先日行われた111回大会では若手ドクターの勢い、美容医療に対する貪欲さ、そして彼らのエネルギーが凄いと感じました。

また、ご参加された皆様の経営に対する興味が強い事も感じ取れました。

よって、112回の学会では今までの様に先輩方の匠の技を学び、良いデバイスやテクニックを知るセッションはもちろんですが、その他にも患者様の安全性をどう確保するか?そして、患者様とクリニックが良い関係を保ち、何度も足を運んでくれるクリニックになる為にはどうしたら良いか?そして、スタッフにも愛されるクリニックになる為には?等のセッションも作りたいと思っています。また、若く勢いのある先生方にも多くの発表していただける様な学会にしたいと考えています。

なお、今回海外からは、顔の若返りの権威である Steven Cohen 先生、世界のボディデザインを牽引する外科医である Alfredo Hoyos 先生をお招きして講演していただく予定です。世界最高峰の美容医療を知り、今後に活かせると思いますので楽しみにしててください。

ご参加くださる皆様が「やっぱり参加して良かった!」と思える学会にしたいと考えています。皆様のご参加を心よりお待ちしております。